

第16回徳島乳幼児・児童教育実践研究大会案内

謹啓 初冬の候、皆様にはご清栄のこととおよこび申し上げます。四国大学生生活科学部児童学科では、地域貢献の一環として、平成19年度から「保・幼・小の発達を見通した教育の創造」をめざした実践研究大会を開催してきました。ご支援・ご参加いただいた皆様のおかげをもちまして、今回で16回目を数えています。

さて、今年も、新型コロナ感染者が多く、保育・教育現場では、手洗い、うがいの励行、マスク着用、三密を避ける等新しい生活様式での保育・教育が行われています。また、保育・教育現場においても研究会が中止となったり、Webでの開催になったりしています。さらに先月から感染者が増加し、第8波到来が懸念されています。そこで、今回も本研究大会は、Web配信での開催といたします。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

今回も現場からの貴重な実践研究報告をいただくとともに、本県の幼稚園教育のご造詣の深い鳴門教育大学教授佐々木晃先生にご講演をいただきます。また、新進気鋭の保育士・教員からのメッセージも予定しています。

つきましては、多くの方々の参加を賜りますようお願い申し上げます。管理職の先生方には、下記の教育委員会・保育関係機関のご後援をいただいておりますので、教職員の皆様にご回覧のうえ、ご視聴のお勧めを賜りますようお願いいたします。



1 主 催 徳島乳幼児・児童教育実践研究会（四国大学生生活科学部児童学科内）

2 後 援 徳島県教育委員会 徳島県市町村教育委員会連合会 徳島県保育事業連合会
徳島県幼稚園・こども園教育研究協議会 徳島県私立幼稚園・認定こども園協会
徳島県小学校教育研究会 鳴門市教育委員会 藍住町教育委員会 北島町教育委員会
松茂町教育委員会 東みよし町教育委員会

3 研究主題 子どもの発達を見通した保育・教育のあり方

4 日 時 令和5年1月28日（土） 9時30分 ～ 14時30分

5 開催方法 Zoomによる開催



6 日 程

- (1) 開会挨拶 (9:30～9:35) ◇ 会長 武市 泰彦(四国大学生生活科学部児童学科主任)
- (2) 学長挨拶 (9:35～9:40) ◇ 四国大学学長 松重 和美
- (3) 研究発表 (9:45～11:00) 「私が大切にしている保育・教育」

①保育所・主 題	豊かな心の育ちをめざして — 足育の実践と運動能力・非認知能力に着目して —
発表者	阿南市岩脇こどもセンター主任保育士 谷 慶子 先生 阿南市本庄保育所 主任保育士 林 由加里 先生 阿南市見能方保育所 主任保育士 松島 真里 先生 阿南市こども課 主任保育士 溝口 真実 先生
②幼稚園 主 題	求められる資質・能力を育むための幼児教育のあり方について — 人との関わりの中で育つ幼児の姿を捉えながら —
発表者	徳島市八万幼稚園 教諭 高田多見子 先生
③小学校 主 題	「豊かにかかわり、つながり、自らつくりだす造形活動」 — 造形的な資質・能力を高め、表現する喜びが 互いに感じられる授業づくり —
発表者	鳴門市里浦小学校 教諭 前田 美里 先生

(4) 卒業生(現職保育者・教員)からのメッセージ (11:05~12:00)

① 阿南市立新野こどもセンター保育士	片山 紗英 先生 (令和3年度卒)
② 藍住町藍住南幼稚園教諭	渡辺 佳奈 先生 (令和3年度卒)
③ 板野町板野東小学校教諭	林 玲那 先生 (令和3年度卒)

(5) 講演 (13:00~14:20)

◇ 演 題	保育の楽しさと専門性
◇ 講 師	鳴門教育大学高度学校教育実践専攻 教職系 幼児教育コース 教授 佐々木 晃 先生

(6) 閉会挨拶 (14:25~14:30)

◇ 副会長 濱口恒一郎 (四国大学生生活科学部児童学科)

7 申込方法

(1) 四国大学公式Webサイトの「Event & Information イベント & インフォメーション」からか、または、左記のQRコードを読み取って、申込フォームより申し込んでください。



(2) 申込締切 令和5年1月13日(金) 17時00分

8 その他 ご不明な点がございましたら、下記へご連絡ください。

連絡先 〒771-1192 徳島市応神町古川戎子野123-1 四国大学生生活科学部児童学科 鎌田二洋
(Tel) 088-665-9815
(e-mail) t-kamada@shikoku-u.ac.jp

